

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～27℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――台風とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり0.08トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――台風とシケのため出漁日数が少なかった。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げ（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり27kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。北松生月地区では、シイラなどが1日1統当たり1.9トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり122kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり80kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり70kgの水揚げで、前週の78%（前年を下回った）。
- トビウオ船曳網――北松生月地区では、小トビ主体で1日1統当たり996kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/19日～9/24日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（アカイカは帰港中、スルメイカは大和堆付近に出漁）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、山陰沖荒天のため出漁できず。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-28号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>